倉敷天文臺創立滿三週年記念式の報告

主事　水　野　千　里

昭和四年十一月二十三日午後三時から，倉敷天文臺で創立滿三週年記念式が擧行せられた．その大要は次の通りである．

1　開會の辭　水野主事簡單に開會の辭を述べた．回顧すれば，當天文臺の創立されたのは，去る大正十五年十一月二十一日で，早くも三週年を迎へることになつた．その間天文學普及に於いては預つて若干の功があつたが，研究の方面には物足りないことが多いから何んとか，方法をつけて，天文臺をもつと有效にしたい旨を述べた．

2　事業報告　水野主事が開會の辭に引續いて，昨年十一月から本年十月迄の事業について報告した．通俗講演としては，水野主事が昨年一月から，太陽系についての連續講演を終つた．其の他臨時の問題をも講演し，六高の宮原教授の講演が二回あつた．その題目は次の通りである．宮原教授—最近歐米旅行談，地球の密度．

水野主事—天文叢談，小遊星の發見，火星の話，日蝕の話，時の話，天王星と海王星，遊星，彗星の話，黃道光と對日照，隕石の話．

昨年十一月から本年十月迄，毎月參觀人員十一月 44，十二月517，一月73，二月216，三月298，四月1135，五月954，六月186，七月52，八月14，九月157，十月428，會計4074．これには毎月第一，第三土曜日の公開日と，臨時公開日との參觀人員を加算してないから，統計は約七千人，月平均五百人と見て差支あるまい．

3　式辭　原名譽臺長式辭を述ぶ．

その中に「民衆天文台として，活動して居るが，他に誇るべき事業を未だ手をつけかねて居るのは遺憾である．天文同好會の天文台が各地に出來るであらうと思つて居るのに，未だ他に設立されないのは何故であらうか」といふ事もあつた．

4　記念講演

a.　屈折望遠鏡と反射望遠鏡　　中　村　　要氏

屈折望遠鏡と反射望遠鏡とについて，その製法，異なる點，特徴，缺點等一々通俗的に要領を得て，淳々として話されたので，聽衆は大に滿足した樣であつた．

b. 歌米天文臺瞥見　　宮原　節教授

宮原氏は最近在外研究員として，物理學を研究され，その間，英，佛，墺，獨，瑞，蘭，米等の各地の天文台を視察されたので，各天文台に關する最新の研究，所感等に就いて述べられ，大に感興を惹いた．

c. 天文學と天文臺　　山本一清博士

天文台に望遠鏡と人との必要なることは誰しも十分に承知して居るが，場所の必要なことは稍々疎外されて居る感があると說き起し，各地の天文台の比較や，古來天文學者の事柄を述べ，兒童は汽車に乘ると窓外の風物を厭かず眺めて居るが，地球上に居る人々は足許ばかりに氣をとられ，天を望むものは少い．地球を汽車に例ふれば，天文學者は車掌であるとて，聽衆をひきつけ，天文學者は天界の現象について，人々に呼びかけて居る，去る五月九日の日食の如きは世人をして天に注意せしめたのである．曆は天を旅行して居る吾人の旅行案內記であつて，天文學者によつて編纂されて居ることは十分知られて居ながら，之れを十分に利用する者は少い．地球といふ汽車の運轉手は誰かといふと未だわからないが——ニュートンの運動の法則か，それも少し怪しくなつて，アインシタインの相對性原理の方がよい樣であるなど，大に天文學について，その勝れたる點を述べて，來會者の拍手の中に壇を降られた．

5　天文臺案內　次に水野主事は祝電を朗讀し，それから人々を天文臺に案內し，天文臺について說明し，二三の星を觀望した．

6　天文に關する陳列會　別室に天文に關する繪葉書，圖書，星座早見（宮原教授の歐米で蒐集されたの十數種）等を陳列して，一般の觀覽に供した．

7　天文幻燈會　夜分は天文幻燈會が開かれ，水野主事は各地の天文臺について，山本博士は天體について說明し，最後に水野主事は光學工業會社から，宮中に納めた四吋望遠鏡について說明した．

8　閉會の辭　水野主事によつて閉會の辭が述べられ，これで記念式は盛會裡に終つた．

本日は兒島商船學校，高梁中學校，關西中學校，第六高等學校等よりの團體の來會者も少からず．前後約二百名許りの人々が集つた．